

ようこそ!! 学童保育へ

編集部

＊学童保育は地域によって「学童クラブ」「子どもクラブ」「児童ホーム」「育成室」など、さまざまな名称で呼ばれています。国は、「放課後児童クラブ」と呼んでいます。

四月、新たな出会いの季節です。ここでは、学童保育の成り立ちと制度の移り変わりをふり返るとともに、学童保育の役割、「一人ひとりの子どもが充実した生活をおくれるように、保護者と指導員が力をあわせることの大切さ」について、たしかめあいます。

「たぐいまゝ」と学童保育に帰ってきた子どもたちを、

指導員が「おかえり!」と迎えます。学童保育では、遊ぶ、宿題をする、団らんのひとつときを楽しむ、一緒におやつを食べるなどして放課後の時間を過ごします。また、疲れていたり体調が悪いときには、心身を休めて過ごし

ます。みんなで近くの公園に遊びに行ったり、一日保育の日に昼食づくりを行う学童保育もあります。

このほかにも、身のまわりの整理整頓、衣服の調整、清潔の維持、休息などの生活に関する基本的なこと、係当番活動、折々の行事の取り組みなどを行っています。

学童保育は、安心して過ごせる生活の場であることが必要です。私たちは、子どもが学童保育に通いつづけられるように支えらるとともに、保護者と指導員、そして保護者同士が信頼関係を築き、共に子育てをしていくことを大切にしています。

二〇二三年五月現在、全国には三万六〇九四（支援の単位）の学童保育があり、一四〇万四〇三〇人の子どもたちが通っています。^{*1}

学童保育の成り立ちをふり返ると一九五〇年頃にさ

